

エゾマツの白く美しい木肌が特徴的なオケクラフト初めて手にする方はその自然な手触りと木肌の色から塗装がされていないと思う方もちらほらしかし愛着をもって日常の生活で長く愛用されることを目的としたオケクラフトは日常使いの器として使いやすいようにしっかりと丁寧に塗装がされています

今月号のあれこれではオケクラフトの「塗装」のことそしてなぜ塗装は必要なのかその他の塗装の方法についてもお伝えします



「トソウ」ノオハナシ

化粧と保護
木製食器の
「塗装」について

きほんのおはなし…木製食器にはなぜ、塗装が必要なの？

- ①仕上げを綺麗に見せる⇒てまひまかけて製作された器をより素敵に！
②汚れを付きにくくする⇒器の表面に膜を作ることで汚れを防ぐ！
③腐食の防止⇒本来木材は水分に弱いもの。内部に水がしみ込み、湿ったままだと腐食の原因に。塗装によって表面に膜を作ることで腐食を防止！



人と、木と、おけと



【オケクラフトの塗装方法】

木製食器の主な塗装の方法は

- ① ウレタン塗装
② オイル仕上げ
③ 漆塗り と、いわれます。

オケクラフトでは、主に①と②の方法が用いられ、**あれこれ no.04**で紹介したように、**樹脂含浸、下塗り、中塗り、仕上げ**と何度も塗り重ねていきます。

水や熱に強く日常の食器として安心して使えるように、**食品衛生法をクリアした素材を強化するための樹脂含浸とウレタン塗装を基本としています。**
⇒マツ材を活用すること、そして給食器としての普及のため、塗料の開発がオケクラフト誕生にはとても重要。

◎ウレタン塗装

口に入れても安心な透明の樹脂で全体を覆う塗装で、表面からの液体のしみ込みを防ぎます。耐水性があり、色やにおい移りの心配も少なく、お手入れは簡単ですが、使い続けると表面の塗膜が薄くなっていくので、塗り直しが必要になります。使いはじめは、ウレタン塗装特有のにおいが気になる場合もあるので、陰干ししてあげると、においが抜けていきます。



ウレタン塗装

◎オイル（ミツロウ）塗装

木材の表面に亜麻仁油やミツロウなどを塗ることで、木の乾燥を防ぎ、汚れをしみ込みにくくする塗装です。

表面を完全に覆う塗装ではないため、塗装後でも木の調湿効果は保たれ、使用するオイルによって、しっとりしたり、さらっとしたり、仕上がりにも違いが出てきます。

使ううちに塗装は落ちてしましますが、市販のオイルで簡単に塗り直しをすることができます。



ミツロウ塗装

【その他の塗装方法】

◎日本最古の塗装 - 漆塗り -

漆は、ウルシの木から採取される樹液を使用した自然塗料で、日本では縄文時代から塗料や接着剤として活用されてきました。一度硬化すると、耐水性、堅牢性、耐酸・耐アルカリ性に優れるほか、抗菌作用もあることから、現在においても、漆にかなう塗料はないといわれます。



◎注目の塗装 - ガラスコーティング -

ガラスを常温で液体にしたものを木にしみ込ませ、木を強くし、汚れや傷を付きにくくした仕上げのものや、表面をコーティングしたものなど、近年注目されている塗装方法です。

塗膜が剥げたり、劣化の心配がないため、半永久的に長持ちするといわれますが、食べ物によっては色が移ったり、硬いものがあたると傷がついてしまうこともあるので、取り扱いには注意が必要です。

食器には使用されないけど

◎北欧の塗装 - ソープフィニッシュ -

家具の仕上げの一つとされるソープフィニッシュは、文字通り「石けん（脂肪酸ナトリウム、脂肪酸カリウムが98%以上の配合になっている純石けん）」を使用する塗装の方法で、石けん水で汚れを落とすとともに、石けんの脂肪分によって出来た薄い被膜が汚れを防ぐ役割をはたします。北欧などではよく用いられ、白く明るい印象に仕上がります。



klart blog より画像借用